



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月1日
東

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社 上場取引所
 コード番号 4404 URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三木 逸郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部長 (氏名) 小田島 淳悦 (TEL) 03-3603-1149
 四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	33,205	△1.6	848	67.0	1,054	59.6	1,089	163.9
2018年12月期第3四半期	33,733	△1.4	508	△39.6	660	△30.7	412	△33.9

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 763百万円 (132.4%) 2018年12月期第3四半期 328百万円 (△69.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	106.56	—
2018年12月期第3四半期	40.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	49,512	24,086	48.6
2018年12月期	51,277	23,734	46.2

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 24,065百万円 2018年12月期 23,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	—	—	40.00	40.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,700	2.3	1,010	35.6	1,110	17.5	1,150	67.2	112.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	10,306,895株	2018年12月期	10,306,895株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	81,904株	2018年12月期	81,859株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	10,225,006株	2018年12月期3Q	10,267,068株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年1月1日～2019年9月30日）における我が国経済は、個人消費や設備投資など内需が底堅く推移することで緩やかな増加基調はみられるものの、米中の貿易摩擦が世界経済に与える影響や海外情勢の不確実性の高まりにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当油脂加工業界におきましては、緩やかな需要の回復は見られるものの、生活必需品に対する節約志向の継続と製造コストの上昇により、厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなかで当社グループは、採算性を重視した営業活動や各種展示会を通じた製品の拡販に取り組む一方、生産体制の効率化やユーティリティ費用の削減等に努めました。

この結果、売上高は332億5百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は8億4千8百万円（前年同期比67.0%増）、経常利益は10億5千4百万円（前年同期比59.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億8千9百万円（前年同期比163.9%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 食品事業

食品事業につきましては、主要取引先である製パン製菓市場の需要が減少したため、主力製品のマーガリン・ショートニングの売上が伸びず苦戦を強いられました。更に、電力などのユーティリティ費用や物流コストの上昇も収益を圧迫する厳しい状況の中で、シートマーガリンや乳加工食品等の高付加価値製品の拡販や展示会を通じた新規顧客の開拓等に取り組みました。

その結果、売上高は221億6千7百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は8千4百万円（前年同期比37.5%増）となりました。

② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、主要需要先である合成樹脂、界面活性剤、塗料、ゴム、トイレットペーパー、潤滑油等の業界の需要は減少したものの、精製設備を強化し品質の向上に努めたこと等により、脂肪酸やグリセリンの販売が堅調に推移しました。

界面活性剤製品につきましては、紙・パルプ分野の家庭紙用薬剤の需要が春先の花粉飛散量の増加と海外の需要拡大により好調に推移しました。化粧品分野のクレンジング基剤については、化粧品メーカーの需要が伸びており、また、環境関連分野においても廃水用重金属処理剤の海外への販売が伸長しました。

その結果、売上高は109億2千万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は7億1千5百万円（前年同期比82.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億6千4百万円減の495億1千2百万円となりました。主な減少は受取手形及び売掛金17億2千2百万円、投資有価証券4億1千6百万円、原材料及び貯蔵品3億6百万円、電子記録債権2億4千8百万円であり、主な増加は現金及び預金10億1千万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ21億1千5百万円減の254億2千6百万円となりました。主な減少は支払手形及び買掛金13億7千6百万円、借入金5億3千6百万円、電子記録債務4億1千万円であり、主な増加は未払法人税等2億3千4百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億5千1百万円増の240億8千6百万円となりました。主な増加は利益剰余金6億7千7百万円であり、主な減少はその他有価証券評価差額金3億1百万円であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の46.2%から48.6%に増加しました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、2019年4月23日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,128	6,138
受取手形及び売掛金	11,991	10,269
電子記録債権	1,561	1,313
商品及び製品	2,407	2,412
仕掛品	564	572
原材料及び貯蔵品	2,591	2,285
その他	419	233
貸倒引当金	△58	△73
流動資産合計	24,607	23,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,455	4,345
機械装置及び運搬具（純額）	4,516	4,764
土地	5,325	5,315
その他（純額）	718	640
有形固定資産合計	15,015	15,065
無形固定資産		
その他	280	288
無形固定資産合計	280	288
投資その他の資産		
投資有価証券	8,952	8,536
退職給付に係る資産	2,242	2,296
その他	203	203
貸倒引当金	△25	△27
投資その他の資産合計	11,372	11,007
固定資産合計	26,669	26,360
資産合計	51,277	49,512

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,774	7,398
電子記録債務	1,027	616
短期借入金	3,975	3,925
1年内返済予定の長期借入金	3,581	751
未払法人税等	88	322
その他の引当金	7	22
その他	2,194	2,258
流動負債合計	19,647	15,294
固定負債		
長期借入金	3,726	6,070
退職給付に係る負債	2,291	2,301
役員退職慰労引当金	89	89
役員株式給付引当金	6	14
その他	1,780	1,656
固定負債合計	7,895	10,132
負債合計	27,542	25,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	6,098	6,776
自己株式	△124	△124
株主資本合計	20,480	21,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,874	2,573
退職給付に係る調整累計額	354	333
その他の包括利益累計額合計	3,229	2,906
非支配株主持分	24	20
純資産合計	23,734	24,086
負債純資産合計	51,277	49,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	33,733	33,205
売上原価	28,601	27,606
売上総利益	5,131	5,599
販売費及び一般管理費	4,623	4,750
営業利益	508	848
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	141	179
持分法による投資利益	6	42
その他	129	105
営業外収益合計	277	328
営業外費用		
支払利息	84	91
その他	40	30
営業外費用合計	124	122
経常利益	660	1,054
特別利益		
有形固定資産売却益	-	541
特別利益合計	-	541
特別損失		
有形固定資産除却損	51	38
関係会社株式評価損	-	19
特別損失合計	51	58
税金等調整前四半期純利益	609	1,537
法人税、住民税及び事業税	7	314
法人税等調整額	189	137
法人税等合計	196	451
四半期純利益	412	1,085
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	412	1,089

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	412	1,085
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△301
退職給付に係る調整額	△59	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	-
その他の包括利益合計	△84	△322
四半期包括利益	328	763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	328	767
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,855	10,781	33,636	97	33,733	—	33,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	113	—	113	107	221	△221	—
計	22,968	10,781	33,750	204	33,954	△221	33,733
セグメント利益	61	393	454	53	508	—	508

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,167	10,920	33,087	117	33,205	—	33,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	—	94	107	202	△202	—
計	22,262	10,920	33,182	225	33,407	△202	33,205
セグメント利益	84	715	799	48	848	—	848

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。